



ひがしやまあいじえん えんだより

STEP!

Living together. Growing up together. Caring for children.



2023

11

November



あいじえんコラム 2023.11

紅葉の進み方が1ヶ月以上遅れている昨今ですが、暦の上では立冬（正確には11月7日から）、冬になります。暑い暑いと言いながらとにかく水遊びで過ごした夏が過ぎ、朝夕はめっきり寒くなりました。「お盆が明ければ涼しくなる」はもう昔の話で、今ではお彼岸が明けないと涼しくならないようです。夏の名残りが長く、むしろ名残りとは言い難く夏が長くなったということでしょう。涼しくなったとはいえ日中は日差しが強く、園庭で走り回れば汗ばむ日も。日中の暑さだけは続きそうです。そんな中、10月はみんな思い思いの時間を過ごしました。ようやく秋らしい天気の中、外で遊ぶにはちょうどいい季節。善光寺への散歩はもちろん、近隣散策でどんぐりや木の実、まつぼっくりなどを収集して楽しんでいます。散歩に出れば色々な発見があり、みんな園外に出ていくのを楽しみにしています。

話は変わって先日27日（金）に九州大谷短期大学にて真宗シンポジウムが開催されました。講師は、幾度とこのえんだより内でご紹介している汐見稔幸先生。なのですが、シンポジウムで汐見先生の基調講演後の鼎談に登壇して欲しいと大学からお願いを受けました。まさかまさかのご縁に驚きです。今回のシンポジウムは『共に育まれる共育へ』というテーマで開催され、講演をいただいたのですが、日本の教育は諸外国（特にヨーロッパ）に比べて随分遅れていることがよくよく頷ける内容でした。特に小中学校の義務教育期間は顕著のようです。子どもが自分で選択できずに与えられるだけの授業では一人ひとりの学びには繋がらないと先生は仰いました。学年もクラスも担任も授業内容も全て国が定めた学習指導要領に則って行うのが今の日本の教育であり、それでは「できる子」「できない子」がいて当然の中、差が開く一方。本来人間は長い歴史の中で何を学びたいのか誰に教えるを乞うのかを自分で選択してきた。興味のあることでないと学びは深まっていかないということでした。そして学校教育だけでなく幼児教育も同じであると。

ということは、あいじえんが一斉型保育から主体的に関わる遊びと環境による保育にシフトチェンジして3年が経過しましたが、正にこのことがこれからの保育におけるスタンダードになるのでしょうか。保育活動の遊びに熱中する、諦めずに達成できるまで続ける、躓き困った時には友達と保育者と話しながら進めるなど、子どもたちの主体性が存分に発揮できる活動全てを通じて学びへ繋がっていきます。遊びや自発的な創作活動は、子ども自身が自分たちでやろうと決め、失敗しても諦めないように保育者がていねいに支えていくことで発展します。そこで大切なのは、子ども一人ひとりが主体的であるということです。

子どもの主体性は、乳幼児期からの自発的な遊びや遊び的活動を通じて育っていきます。保育者が子どもたちのやることをあらかじめ決め、実行していくだけの保育は、その意味で有効ではなくなっています。子どもたちのさまざまな活動への刺激が多様に働く環境をうまく創り続け、子どもたちの主体的な活動を活発に引き出していくこと。これが、今後の教育でもっとも大切な課題になっていることです。

最後に、汐見先生の著書に「教えから、学びへ」という本があるのですが、この本にシンポジウムで講演された内容が網羅されています。子育て世代、教育者・保育者のみならず、個人的には日本の教育システムを作り動かしている政治家の方にも読んでもらいたいと思います。



event

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1	2	3	4
5	6 検尿容器配布	7	8 検尿提出日 避難訓練（地震）	9	10	11
12	13	14	15 体操教室	16	17 身体測定	18
19	20	21 おたのしみ会	22	23	24 消火・避難訓練	25
26	27	28	29	30		

上旬に稲刈りを予定しています。

Information

尿検査（下半期）

6日に尿検査の容器を配布しますので、翌日、朝一番の尿を採取し、7日もしくは8日に提出ください。

上半期写真の販売

9月24日から3か月間、「はいチーズ! フォト」にて上半期分の写真販売が始まっています。認証キーは「2023年度の入園しおり」に掲載しています。もし認証キーが分からない場合はお尋ねください。

2024年度入所申込書類について

【みやま市】

10月のえんだよりと同日に配布しました入所申込書を15日までに取りまとめの上、市役所へ提出致します。そのため4日までに園へ提出して下さい。宜しくお願い致します。

【筑後市】

10月19日に配布させて頂きました。各ご家庭で書類が揃い次第、園の方へ提出をお願いします。

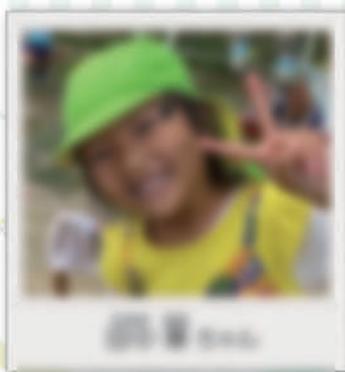
From the kitchen

知っていますか?
新嘗祭

11月23日は、勤労感謝の日と制定される前、「新嘗祭」という祭日でした。新嘗祭は新米などの収穫に感謝するお祭。お米を作る人、運ぶ人、調理する人など、さまざまな勤労に思いをはせ、今日もおいしいご飯を食べられることに感謝しながら、いただきたいと思います。



Happy Birthday



- ①生年月日
- ②好きな遊具
- ③好きな絵本

あったかメニューで
風邪予防

風邪のウイルスから体を守るには、体を温め、免疫機能を高めることが大切。体を温める食材をふんだんに使ったお料理で、体の芯からポカポカに。

あったかメニュー
鍋料理、おでん、
スープ、シチュー
など

体を温める食材
ネギ、ニラ、タマネギ、
ショウガ、ニンニク、
カボチャ、ゴボウ、
ダイコン、ニンジンなど



もみじのひと月

バス遠足

前日から「明日のバス遠足楽しみ～」と喜びを隠せない子ども達。当日大型バスを見ると大はしゃぎの子どもたちでした。行きの車内では各クイズに元気よく参加したり、窓から見える景色を眺め楽しんでいました。

油山では親子で〇×クイズに参加したり、遊具で遊んだり、乗馬体験、餌やり体験など普段できないことを思いきり楽しんでいる子どもたちの姿が見られました。笑顔がとにかくキラキラしていて楽しさが伝わってきました。

帰りのバスでは「今日楽しかったこと」を年長の子達に発表してもらいました。子どもたちの「楽しかった！」の声がたくさん聞けました。親子でのバス遠足は子どもたちにとって楽しく思い出に残ったことなのでしょう。



みかん狩り

まつぐみは19日にみかん狩りへ行きました。道中は山の中だけあって、木々や落ち葉、どんぐり木の実など自然いっぱい「なんかみかんの匂いがする!？」と言ったり「虫が鳴いてる～」と「虫のこえ」を歌いながら、自然の中にいる自分そのものを五感で感じ取っているようでした。みかん畑に到着すると、みかん狩り用のハサミの使い方を教えてもらい、「これ甘いかな?」「みてみて! おっきいの取れたー!」と言いながらとても楽しそうにみかん狩りをしていました。時間いっぱい採り終わると、今度はその場で取ったみかんを頂いたのですが、その場ですぐ食べるということが嬉しかったのが、満面の笑みで「おいしいねえ!」「まだ食べた いっ!」と嬉しそうでした。採ってすぐ食べれるなんて特別感が あったのでしょね。

食育 (カレー・ピザトースト)

まつとたけでピザトースト作りをしました。普段からおやつメニューにもなっているピザトーストですが、自分で作ること(作れること)にワクワクしていて、たくさんの具材に目を輝かせながら、嬉しそうにトッピングしていました。野菜が苦手な子どもたちにも、少しでもいいから野菜も入れようねと伝えて、一人ひとりバランスよく作ることができました。とにかく具材を盛る子やベーコン多め野菜少なめな子、ケチャップたっぷりな子などなどトッピングにも個性が出ます。実際に自分が作ったものを食べた時の、なんとも言えない素敵な表情を見ると、こちらまで笑顔になりました。ピーマンが苦手な子どもたちも、「自分で作ったからおいしい!」ととても嬉しそうで、食べる楽しさ作る楽しさを存分に味わえた子どもたちでした。





戸外活動

秋の気持ちの良い気候の中、子どもたちは戸外遊びや散歩をして外での活動をおもいきり楽しみ、満喫しています。まつぐみは、ドッチボールや中当て、キックベースなどボールを使ったルールのある遊びをみんなで楽しむ姿が増えています。そうすると勝ち負けがつくので、一緒に遊ぶ中でそれぞれの思いがすれ違うこともあります。自分の気持ちを伝えて、相手の気持ちも受け入れる難しさを日々感じている子どもたちです。年長ともなればお互いに話し合いで解決できるのですが、ついカッなって抑えきれなくなることもあります。そんな時は仲介に入ってお互いの気持ちを確認したり、そっと見守ったりしています。思いのすれ違いを何度も経験して、友達への伝え方（コミュニケーション力）やルールを守って遊ぶことの楽しさを味わって欲しいなと思います。



たけ・もも

10月は戸外遊びを思いっきり楽しんでいた子どもたちです。砂場で砂山を作ったり、ピカピカを目指して泥団子を作ってみたり、ブランコなど遊具を楽しんだり、各々がやりたい遊びを満喫していました。

その中でも最近では泥団子作りにハマっていて、壊れないピカピカの泥団子をつくるにはどうしたらいいか、年長児や参観に来られている保護者と試行錯誤して考えて作ったり、遊んで学ぶ姿が見られます。

また、ごっこ遊びをしている姿も多く見られます。送迎バスの中でも「今日は鬼滅の刃ごっこしよう」や「スーパーマリオごっこしたいね」といった会話が聞こえてきたり、戸外でも色んな役に成りきって遊んでいます。子ども達でシチュエーションをイメージすることで、状況に合わせた創造豊かな言葉のやりとりもあって、見ているこちらが楽しませてもらっています。その会話の中にも相手を思いやる言葉遣いが聞こえると、一人ひとりの成長を感じます。



さくら・うめのひと月



さくら

過ごしやすい気候だった10月は、どんぐりや栗拾いなど秋を感じる戸外遊びを中心に行いました。拾ったどんぐりや栗は「おうちにもってかえるー!」と袋いっぱいに入れて「ちゃんとはいつるかな?」と帰りの道中、何度もカバンの中身を確認して大切に持ち帰っていました。遊びの中では友達と一緒に遊んだり、会話を楽しむ姿が増えてきました。関わりが増えた分、おもちゃの取り合いなどの喧嘩もよく起こっていますが、見守ったり援助しながら過ごしていきます。

11月はおゆうぎ会に向けて少しずつ練習をしていきます。音楽のリズムに合わせて身体を動かしたり、楽器にも触れながら音遊びを楽しみたいと思います。練習の後は子どもたちの大好きな戸外遊びをたくさん行い、身体を思いきり動かして遊べる時間も取り入れます。体調を崩しやすい時期ですが、体調管理に十分気を付けて過ごしていきましょう。



うめ

朝・夕と冷え込み肌寒くなりましたが、日中は秋晴れの中過ごしやすく、園外散歩へ出掛けたり、戸外遊びを思いっきり楽しむことができました。バッタやかまきりを見ついたり、どんぐりや木の実、落ち葉や可愛い花などを大事に持ち帰り、たくさんの秋そのものを感じています。これから徐々に寒くなっていきます。衣服の調整に気を付けながら体調管理に留意し、ご家庭と連携して保育を進めていきたいと思います。

遊びの中では、それぞれの自我がハッキリしてきたことで、トラブルが目立ってきました。しかしこれも成長の証。仲立ちしてしっかり話を聞いて、子どもたちの思いを受け止め、みんなが安心して楽しく遊ぶことのできる環境を作っていきます。



日本の保育

古くはドイツの「シュタイナー」やイタリアの「モンテッソーリ」、最近ではイタリアの「レッジョ・エミリア」やニュージーランドの「テファリキ」をはじめ、日本では乳幼児期の教育・保育の質を向上させるために欧米の保育に対する関心は高いものがあります。

そのため海外の乳幼児教育・保育を視察し、日本にないものを模倣し、取り入れ実践している園もたくさんあります。日本人は海外の優れた取り組みに出会うと、「これだ」と、取り入れ実践しようとするのは、海外の物に敏感に反応する日本人ならではの気がします。(悪い意味ではなく実態として)コラムでも書いた通り、近年は「子どもの主体性」が注目されています。実際これからの保育を考えた時にそれは間違いではありません。しかし、「日本の幼児教育・保育で大事にしてきたこと」にも目を向けていく必要があると思います。ちょうど玉川大学の大豆生田啓友先生のインタビュー記事の中に日本の保育について話されていたものを見つけたので、紹介します。



倉橋惣三の「子どものこころもち」

Q：著書のタイトルに「日本が誇る！ ていねいな保育」とありますが、日本の保育の質を語るうえで、「丁寧」がキーワードになるということでしょうか。

A：「ていねいな保育」という言葉は、日本の幼児教育の先駆者とも言える「倉橋惣三」が発信してきた保育論や、わが国の先駆者の優れた取り組みから考え、イメージしたものです。

倉橋の代表的な著書である「育ての心」に、「子どものこころもち」という言葉があるのをご存知ですか？

Q：子どものこころもち、ですか。

A：単なる「心」や「心理」じゃなくて、心に気持ちをつけた「こころもち」という言葉。

一人の子の心的状態をまるごと丁寧に捉えようとする、目の前の子に対して尊厳を感じ、すごく温かく、丁寧に、人間味がある、日本独特の表現だと思うんですね。

目の前の子どもの存在をまるごと受け止め、内面理解を大事にしようという意味として捉えられますが、ここに日本の保育の大切な姿勢があるのではないかと思います。

倉橋惣三の流れを継承した方に、日本保育学会の会長をした津守眞先生(1926 - 2018)がいます。津守先生は保育学会の会報に「日本の保育はきめ細かく子どもと接することで知られている」と書いていました。

「こころもち」や「丁寧」は、「きめ細かい」と言い換えても、かなり近いものだと思いますね。

そして、それをさらに言い換えていくと、保育所保育指針等のなかに記されている「応答的」「受容的」という言葉になる。

こころもちを大事にする、丁寧にきめ細やかな保育をするということは、子どもに応答的、受容的に関わること。

つまり、子どもが生きている世界をまるごと見ようとするということですからね。これも誤解を招く言葉でもあるけれど、「見守る」というのも日本的だと思います。子どもがしていることへの信頼があるから、見守れるわけですね。

倉橋の「育ての心」の冒頭に、「自ら育つものを育てようとする心、それが育ての心である」という一文があります。つまり、「子どもは自ら育つ存在だ」と。

そう子どものことを捉えられると、丁寧の捉え方も変わってきますか。大人が先回りするのではなく見守る。子どもは自ら育つ存在だから、積極的な関心を持って、その子の生きている世界を捉えようとする。だから、主体的な活動である「遊び」を重視するのです。

「見守る保育」とイコールかどうかはわかりませんが、目のまえの子どもの存在を丸ごと丁寧に受け止めようとするきめ細かな保育というところに、日本的な保育のよき伝統があるのではないかなと思います。

Book
今月の絵本

こどもかいぎ 北村裕花 作 フレーベル館

今日は大事な会議の日！こどもたちだけでこっそりひらかれる、『こども会議』がはじまります。

「今日のお題は、『おこられたときはどうしたらいいか？』です」

ああでもないこうでもないと、意見をたたかわせる子どもたち。ところがだんだん話はそれて、パパやママが怒るとどんなふうになるか、お披露目大会に——！？スーツ姿の子どもたちが真剣に会議をする姿がかわいくて、おとなも笑顔がこぼれてしまう、たのしい一冊です。さて、なんとか議長が場をおさめ、議論は再開。そして出された、おどろきの結論が。

今月のきゅうしょくメニュー

こんだて		10時のおやつ	15時のおやつ
1日(水)	ごはん 魚のみそ煮 スパゲッティサラダ オレンジ	棒チーズ	マドレーヌ
2日(木)	チキンカレー フレンチサラダ	ビスケット	りんご せんべい
3日(金)	文化の日		
4日(土)	スパゲティミートソース フルーツヨーグルト	りんご	スコーン
5日(日)			
6日(月)	ごはん 魚のオランダ揚げ 和風サラダ ブロッコリー	せんべい	ゼリー せんべい
7日(火)	ごはん 煮込みハンバーグ 春雨の酢の物	バナナ	ハイミックス
8日(水)	ごはん 南瓜のそぼろ煮 胡瓜としらすの酢の物	ビスケット	バナナ せんべい
9日(木)	ごはん 魚のマヨネーズ焼き きんぴらごぼう	りんご	りんごケーキ
10日(金)	ごはん ミートローフ ひじきの煮つけ ブロッコリー	バナナ	ピザトースト
11日(土)	親子うどん フルーツポンチ	棒チーズ	動物ビスケット
12日(日)			
13日(月)	ごはん 魚の香味揚げ ほうれん草の納豆和え キャベツ	せんべい	ミルクもち
14日(火)	ごはん 肉じゃがカレー風味 ごまサラダ	りんご	人参ケーキ
15日(水)	ごはん 麻婆豆腐 野菜のみそマヨ和え	バナナ	安倍川マカロニ
16日(木)	ごはん 魚のフライタルタルソース きんぴらごぼう	棒チーズ	ゼリー せんべい
17日(金)	ごはん 厚揚げの煮付け 胡瓜とカニカマの酢の物	せんべい	バナナ ビスケット
18日(土)	スパゲティナポリタン フルーツヨーグルト	バナナ	卵サンド
19日(日)			
20日(月)	ごはん 豆腐入り松風焼 山吹和え キャベツ	りんご	さつま芋の天ぷら
21日(火)	ごはん チキンカツ ほうれん草の生姜醤油和え	せんべい	チョコケーキ
22日(水)	ごはん ひき肉の回鍋肉 マカロニサラダ	棒チーズ	ババロア ビスケット
23日(木)	勤労感謝の日		
24日(金)	ごはん 魚の天ぷらカレー風味 スパゲッティサラダ ブロッコリー	せんべい	金時豆の甘煮
25日(土)	肉うどん フルーツヨーグルト	ビスケット	炊き込みご飯
26日(日)			
27日(月)	ごはん みそおでん フレーク和え	バナナ	ジャムサンド
28日(火)	ごはん 鶏の揚げ煮 ナムル風煮びたし こふき芋	せんべい	ベジタべる
29日(水)	ごはん 中華スープ 魚の照り焼き 南瓜サラダ	ビスケット	りんごケーキ
30日(木)	ごはん 炒り豆腐 ポテトサラダ	りんご	どら焼き



ひがしやまあいじえん

幼保連携型認定こども園 社会福祉法人 千広会 ひがしやまあいじえん
 835-0002 福岡県みやま市瀬高町小田 2215-5
 TEL 0944-63-7519 FAX 0944-63-5734 web h-aijien.net

